

# 死とは？

# 生きる意味とは？

人はみな、いつか死ぬことになり  
ます。どんな元気な若者であっても、  
老いていき、病気にかかるようにな  
り、やがて死を迎えることになるの  
です。病、老い、死はだれしもが通  
らなければならない道です。

私はかつて看護師として病院で働  
いていました。そこには、死を前に  
した多くの高齢の患者さんがおられ  
ました。

ある日の朝、私はある患者さんの  
ベッドサイドへ行き「今朝の調子は  
いかがですか？」とお尋ねしました。  
するとその方は「何も変わらないよ。  
ただ、お迎えが来るのを待っている  
だけだよ。」とお答えになられました。

私「・・・・・・・・」

私はその返答に驚き、なんと言葉  
を返したらよいか分かりませんでした。  
迫ってくる死の力は、その方から  
生きる力、喜び、希望を奪い取っ  
ていました。それに対して私は何も  
力になれませんでした。

医療や人間のできることには限界  
があります。死の力は最終的に人を  
絶望感や空しさへと追い詰めていき  
ます。死の力はあまりにも強大です。

私はその時、死について、生きる  
意味について考えさせられました。  
「死とはなんなのだろう？  
生きる意味とはなんなのだろう？」  
この問いかけは、もしかしたら皆様  
も心に抱いたことがあるのではない  
でしょうか？



## 死後に何が待っているのか

なぜ人は死ぬのでしょうか？人は死んだ後、どうなるのでしょうか？死と死後について知らないまま生きることは、ゴール地点を知らないままマラソンを走っているかのようです。私たちは死と死後に対する明確な答えを求める必要があります。

しかし、死後のことは人間には知り得ないことです。ですから、神のことばである聖書から死と死後についての答えを求める以外に方法はありません。

**「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」**（新約聖書 ヘブル9章27節）

人間は、死と死後のさばきに定められていると聖書は語っています。なぜなのでしょう？それは私たちには罪があるからであると聖書は語っています。そのために死後の世界で人生において自分が犯したすべての罪に対するさばきを受けなくてはならないのです。私たちは罪があるのは一部の人たちだけだと思うかもしれませんが、実際はそうではなく、すべての人間は例外なく罪を犯していると聖書は語っています。

では、何が罪なのでしょう？

## 人間の抱えている罪の問題

神はこの世界を創造され、人間を愛の対象として造られました。神は私たちが生きるのに必要な太陽、水、空気、食べ物、からだなどを与え、私たちを養っておられます。さらに、美しい自然をもって私たちに生きる喜びを与えておられます。人間は本来、神の素晴らしい愛を喜んで生きているはずなのです。



しかし多くの人々が「神などいない」と言い神を無視して生きています。それは「親などいない」と言って、自分を生んでくれた親を無視しているのと同じようなことです。

多くの人々が偽りの神である偶像を拝んでいます。それは本当の親を無視し他人のことを「これが私の親だ」と言っているかのようです。

また、人間は数々の罪深いことを考え行っています。それは自分の心の中（利己心、妬み、憎しみ、嘘、欲望など）や日々の報道ニュース（汚職、不倫、盗み、暴行、殺人、戦争など）を見れば明らかです。

人間は神から離れ、本来の生き方と本当の喜びを見失い、罪の中をさまよい、神のさばきを招いています。

## 救いの道

**「キリストは自ら十字架の上で、  
私たちの罪をその身に負われた。」**

(新約聖書 ペテロの手紙第一 2章 24節)

神のひとり子イエス・キリストは今から約 2000 年前に私たちを救うために十字架に架られました。

本来であれば私たちが死後に受けるべき地獄での刑罰を十字架で身代わりに受け死んでくださったのです。



そして、神はこのイエス様を死後 3 日目によみがえらせ、すべての人にとって唯一の救い主と定められました。このイエス様を信じる者は、すべての罪が赦されるのです。

あなたにいのちを与え、養っておられる神に罪を犯してきたことを認め、悔い改めて神のもとに立ち返ってください。あなたを救うために十字架に架かれ、死なれ復活されたイエス・キリストをご自分の救い主として信じ受け入れ、罪赦される方となってください。そして死後、火の燃える永遠の刑罰の場である地獄ではなく、天国という喜びの場所に入る方となってください。

## 死への勝利、人生の勝利

その後、私は看護師として働くことをやめ、今は教会で働いています。そんな中、死を前にしたクリスチャンの方に接したことがありました。その方の姿は生きる力と喜びと希望に満ちあふれていました。それは、イエス・キリストを信じておられたその方にとって、死は天国への扉であり、この地上で生きている間も、愛する神様とともに歩いておられたからです。そこには死への勝利、人生の勝利がありました。

クリスチャンにとって、「死とは何か？」その答えは「天国への扉」です。「生きる意味とは何か？」その答えは「愛する神様とともに歩む喜び」です。この幸いを皆さまも受け方になっていただきたいという願いをもって、聖書からのメッセージをこのようにお届けしました。

皆さまが救いを求める思いを持たれ、聖書のメッセージを聞きに教会へお越しくださることを心よりお待ちしております。そしてイエス様を信じて救われる方となられますよう心よりお祈りしております。



# 特別伝道集会

聖書のメッセージをお伝えする講演会です。どなたでも無料でご参加いただけます。

講師：増山康友牧師（長岡キリスト恵み教会牧師）

6/29(土)

午後 3:00~

午後 7:30~

6/30(日)

午前 10:30~

午後 3:30~

当教会は、エホバの証人、統一協会、モルモン教とは、一切関係がありません。

## アクセス

近鉄富野荘駅徒歩4分



## 定例集会

	9:00~	こども礼拝
日曜日	10:30~	礼拝
	15:30~	聖書学び会
水曜日	10:00~	聖書学び会
	19:30~	祈り会
土曜日	14:00~	こどもクラス
	15:00~	聖書学び会

## 城陽キリスト恵み教会

牧師：増山康友、依田朋之

〒610-0111 京都府城陽市富野西垣内 33 - 123

☎ (0774) 29-5215 ☒ joyo.cgc@gmail.com

いずれの集会も参加無料です。

駐車場3台、託児の用意もあります。

詳しくはホームページを  
ご覧ください。

教会ホームページ QRコード▶



おしらせ  
当教会は2024年秋頃、京都府京田辺市宮津灰崎 70-5 へ移転予定です。

近鉄三山木駅、JR 三山木駅より徒歩9分。府道22号線沿い、三山木小学校の向かい側です。